

.....  
**工 事 タ イ ム ス**  
 .....

— 鐵 道 —

**改良事業費細目發表** 鐵道省豫算中の改良事業費各年度の總額においては何等増減なく既定額通りであるが、従來は各線別でなかつたのを今回これを各線別とし、電氣費の如きまたその他も同様分類した、來年度の改良費日別の豫算は次の通りとなつた

改良費日別 (單位千圓)	
總 係 費	9,044
東海道線線路増設費	17,835
中央線線路増設費	2,500
山陽線線路増設費	3,400
關西線線路増設費	4,800
東北線線路増設費	4,611
總武線線路増設費	400
線 路 改 良 費	12,007
停 車 場 改 良 費	26,381
廳舎官舎及倉庫費	3,423
電氣運轉設備費	6,650
發 電 設 備 費	3,580
送 電 設 備 費	1,047
受 電 設 備 費	1,279
電燈電力設備費	1,200
通 信 設 備 費	2,500
電氣信號設備費	1,700
車 輛 費	43,267
工 場 費	1,265
船 舶 費	368
線路及建造物復興費	13,351
電 氣 復 興 費	2,544
工 場 復 興 費	674
合 計	160,406

**中斷線の工事繼續** 昨年十二月二十九日の鐵道會議の希望條件を容れて既定計畫中十六年度以降において中斷すべき四線に左の如き改訂を加へこれを第五十一議會に提出して協賛を求むることに決定した

- 一、盛岡山田間 十八、十九兩年度中斷し廿年度より廿四年度に續く(この五年間の經費千三百廿六萬圓)
- 二、能代五所河原間 十六、十七兩年度中斷し十八年度より廿三年度に續く(この六年間の經費五百九十八萬圓)
- 三、留萌羽幌間 十七、十八、十九年度中斷し廿年度より廿三年度に續く(この四年間の經費百五十萬五千圓)
- 四、大日川内間 十六、十七兩年度間中斷せるものであつたが過般の鐵道會議においてこれを繼續して廿、廿一兩年度間を中斷し廿三、廿四の兩年度に繼續することと改訂した。

**丹那トンネル工事東口湧水す** 昨年十二月三十日の同工事出水に關しては新聞紙上種々なる憶測を報ぜられつゝあるが鐵道省建設局工事課長橋本技師の本誌前號に於ける同工事の寫眞記事に於ける如く同工事は兩口とも用意周到なる工法を執りつゝあるものにして今回の出水の如きは本工事遂行上に驚異すべき事に非らざるべし、熱海線建設事務所長楠田技師の報告は次の如し。

『昨年十二月三十日丹那トンネル東口九千三百尺餘の地點の左側坑道の奥端安山岩質熔岩から湧水し水量約六個に達し下流の軟弱なる温泉餘土に當れる部分の坑道周壁に浸蝕流下しつゝありしも十一日より漸次減退の狀を呈し水量約二個に低下し坑口八千三百尺の坑内(壘築完成)部分は何等支障なし』

.....  
**工 事 タ イ ム ス**  
 .....

尙之に關し橋本課長の談は次の如し。

之は八百尺ばかり温泉餘土と云ふゴムのやうな土質と安山岩と交る交るあつたので大に警戒しながらホーリング(試錐)しながら危険な部分には鐵棒を入れながら掘つたところが安山岩に達した、すると此の切れ目の温泉餘土が丁度ゴムのやうな土質なので之れの中に溜つた水が噴き出したものらしい一體温泉餘土は水に溶かされる性質があるので丁度お汁分のやうなドロドロと濁つた水が熱海へ流れ出して居るので町民は大に驚いたらしいが我々から見ればもう大丈夫である。モウ二三日も過ぎたら豫定の通り工事を進めるつもりで決して人減らしなどはしない又度々事故を起した西口(大竹口)も七千八百尺の箇所まで進み湧水も一時は百二十個もあつたのが現在では七十個となつた此の方は只だ水が出るだけで決して危険がないが工事に邪魔なのでトンネルに併行して排水道坑を掘りながら進むだけであるが疑問とされて居る丹那盆地は今年の暮までに掘られるだらう。

——**建築工事**——

**大銀座街建設案の其後** 大銀座街建設の案は前號に報じたる如く各方面の技術家實業家の熱心なる協議を経つゝあるが、尙銀座の三十有餘の町民は是が非でも理想通の『大銀座』を建設しようと運動中で、その手段としては、一億圓の建築組合を設ける外、過般設立された復興建築会社からも補助金を仰ぐといふのにあるが、一月七日復興局は今期議會に提出する防火地區内共同建築法案の骨子を發表したが、それが共同建築を助成する點が多いのに力を得て、佐野利器博士に様式の研究を依頼した外高等工業學校にその大模型の作成方を依頼し同校でも日本一の大集散場として『大銀座』の設計に取かゝつてゐる。

**建築助成會社開業** 震災後のバラツクの帝都を永久耐震耐火の建物で根本的に改築する爲め希望の向々によつて建築資金も貸し、家屋も建築してやらうといふ趣旨で舊冬十七日創立總會を開いた復興建築

助成會社は事業資金六千萬圓を擁していよいよ一月十日から麴町の東洋ビルディング五階で店開きをした會社の事業資金は政府から借入れ、しかも年八分の利益配當を保證されてゐるのだから鼻息はかなり荒いが、とも角もこの東京を一日も速く名實ともに東洋一の都會たらしめやうといふのだから、復興資金の潤澤な方面には貸出す必要なしとしてまづ中流所をお顧客に營業をする、貸付の範圍は東京、横濱兩市の燒失區域に永久的な建築をする者に限り貸し出すので

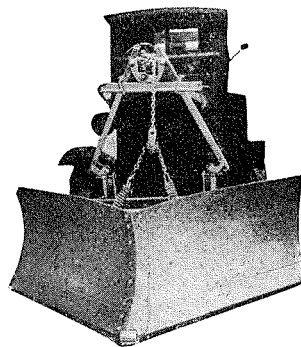
方法には二種あつて一つは會社が家屋を建築してそれを希望の向きへ割賦販賣するのと、一つは建築資金を貸與するのである、年限は最も長いので二十年(元よりそれ以内に償還するのは各人自由)右の方法で家屋を要求する人には設計や建築

材料などの相談から周旋の勞もとるはずである、例へば商店でも住宅でも建築しやうとする人はまづその旨を會社に申入れると會社はその人が眞に建築するものかどうか、地上權關係支拂能力等を調査の上貸出しを決定する、そこで一萬圓で二十ヶ年償却の家が欲しければ前記の二つの方法の何れかによつて毎月八十九圓九十七錢づつを支拂へば二十年満了のときに自分のものとなる次第だが

主として商店と住宅資金に貸出し大

會社工場、劇場高級建築といつたものには手をつけない、同會社が開業するとすでに申込が相次中には例の手で早くも東京市會議員を通じてうまく借出さうとするものなどもあるとのことである。

**學校建築の近況** 東京市では小學校復興建設事業として、十三年度より十七年度までに燒失百十七校全部の本建築を完成する事となつてゐるが、純然たる復興建築としては來る二月落成する湯島小學校を以て最初とする尙區畫整理の進行に伴ひ今年中に完成するものは前記湯島校を始とし三十餘校の多きを數ふる豫定で、これよりは次第に本事業も目ざましく進境を示すに至らうと期待される、復興建設校



米國にて盛に使用せる  
 排雪自動車  
 "V" Type Snow Plow for  
 Motor Trucks.

## 工 事 タ イ ム ス

百十七校中、學務委員會の決議により實施豫算の決定せるものは現在で三十八校、その内既落成五校で他の三十三校中左の十校は工事中である。

	工 費	落成期
湯 島	(400,447)圓	二 月
明 石	(431,902)	二 月
錦 華	(406,145)	五 月
上 六	(460,809)	六 月
御 徒 町	(437,605)	三 月
京橋高等	(368,531)	八 月
柳 北	(467,044)	九 月
外 手	(484,284)	十一月
東 陽	(507,667)	九 月
小 梅	(505,737)	十一月

近く工事に着手する豫定のものは次の九校である。

淡 路	(294,401)	十月
万 年	(307,050)	十月
濱 町	(287,521)	九月
島第二	(340,616)	十月
前堀	(455,611)	二月
靈島	(942,310)	三月
明治	(291,907)	十月
同第		
神龍		

### —— 道 路 工 事 ——

**坂道の新舗装工事** 東京市の坂道は舗装工事に餘程

困難を伴ふものとされてゐるが牧道路局長は此點につき目下工事設計中の急勾配である本郷團子坂の舗装工事につき研究した結果、現在比較的勾配の強い坂道舗装は石塊を波形に敷詰めてゐる方法を更に石塊を鋸齒形に舗装する方法を考案し、此を團子坂に試みることになつた、右につき牧局長は

「日本のやうに坂道の多い道路の舗装は餘程困難なので現在では經費其他の點から一般石塊を用ひる事になつてゐるが、それも次第に磨滅するので更に鑿でギザギザを作る方法を英國でもやつてゐる此の鋸齒形が今の處車馬其他の交通に便利だと思ふが、それも車臺に餘り激しい動搖を與へない程度のものだ」

**東京府の道路工事近況** 東京府執行の復興事業に

屬する街路修築工事は次の如し。

國道の中東海道線入ツ山、蒲田夫婦橋間九分通り完成、蒲田夫婦橋、六郷橋間目下土地買収並びに工事中六分通り進行

中仙道土地買収済み、一部工事着手中、巢鴨車庫板橋間は十五年度中、巢鴨車庫、巢鴨橋間十六年度中竣工の豫定

千葉街道、ほとんど土地買収を終り、目下工事中十五年度中竣工の豫定

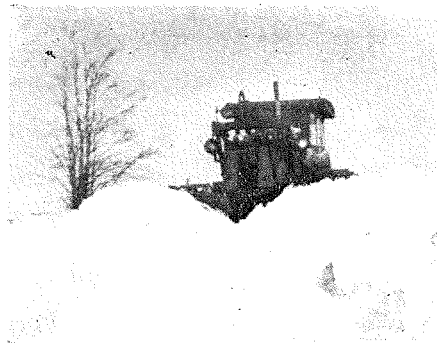
陸羽街道全部土地買収済み、目下工事中十五年度竣工の豫定

### —— 下 水 工 事 ——

**珍らしき美談の一** 工事現場員の眞剣なる努力に

對しては社會も應々感激せざるを得ない、此所に東京市近頃の工事美談がある。

場所は本所緑町五丁目の電車交叉點を中心にした吉田町徳右衛門町南北百五十間の本所切つての目抜きで、同所は十五年三月迄の工期で昨年九月十日に着手したのであつたが、附近の町民有志は一齊に暮の大賣出を



排雪自動車進行中  
COMING THROUGH!

控へて、道路の掘返しは非常な苦痛であるから是非着手を延期して貰ひたいと申込んで來た

同時に同所は數ヶ所の陥落があるなど非常な難工事であつたけれども、請負人大塚盛一氏の犠牲的な勵みと下水課員の努力とでともかくも暮の十五日迄には住民の満足にまですると云ふことを約して着手の結果、つひに昨年暮の賣出しに支障ない程度に迄完成することが出來た、そこでこれに感激した同町の住民はこの功勞に酬いたいと相談の末、直接仕事に携はつた

下水課技手高橋省吾、同工夫佐々木高三、請負人大塚盛一、現場監督新田貢、土工頭吉川龍男、鳥越道四郎

の六氏に感謝狀と銀盃一個宛を贈ることになり、市助役の手から各自に手渡された由。